

数 学

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することができるよう工夫されているか。
	(5) 一度学習した内容を再度学習できるようにするなど、学び直しの機会が適切に設定されているか。
	(6) 各領域の内容を関連付けて見いだした課題を解決したり、解決の過程を振り返って考えを深めたりする学習ができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

III 具体項目

数学

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>1 踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p> <p>教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を</p>	<p>(1) 像成目教 とな「的科 つ「及の特 て「本質に の育成に資する内容、構成人の成間達の</p>	<p>・「学びをひろげよう」では、数学とつながりのある実社会の題材を取り上げることで、自主及び自立の精神を養うとともに、職業や社会生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・「社会にリンク」では、様々な職業において、数学がどのように使われているかを紹介することで、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・「深めよう!」や「活用」では、二酸化炭素排出量やハイブリット車、太陽電池などの環境問題とその対策を取り上げることで、環境の保全や国際社会に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・巻頭に、「古代の数の表し方」「和算と算額」を紹介するとともに、索引に数学用語の外国語訳を付加することで、我が国の伝統文化を理解し、国際社会に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) い学史ふる か。習るさ 生自然と かに長崎 せついの 題て伝統 材理解・文 が解化や 扱を深め われや れる歴</p>	<p>・1年6章「空間図形」において、「江迎千灯籠まつり（佐世保市）」の写真が掲載されている。</p>	<p>・1年7章「データの分析」の「都道府県別中学校数」において、長崎県のデータが掲載されている。</p>	<p>・1年7章「データの活用」において、自分が住む県の人口について話し合う活動が取り入れられている。</p>	<p>・1年2章「正の数、負の数」の「全国各地の気温」、2年7章「データの分析」の「各都道府県の中学校数」において、長崎県のデータが掲載されている。</p>

III 具体項目

数学

観点	発行者	啓林館	数 研	日 文
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科的科目の特質に「教育」の育成に資する内容、構成</p>	<p>・全章に対応した「学びをいかそう」では、身の回りの題材や発展的な問題を取り上げることで、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、主体的に社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・社会や他教科と数学とのつながりに関する内容を掲載したり、全国学力・学習状況調査の問題を取り上げたりすることで、幅広い知識と教養、柔軟な発想力と豊かな創造性を身に付けることができるよう配慮されている。</p>	<p>・江戸時代に発達した日本独自の数学である「和算」を全学年の「数学研究室」で取り入れるとともに、伝統工芸品を掲載することで、我が国の伝統文化を理解し、国際社会に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) 学習の自然にさせる題材が扱われている</p>	<p>・3年8章「標本調査とデータの活用」の都道府県別「睡眠時間ランキング」において、長崎県のデータが掲載されている。</p>	<p>・1年コラム「数学旅行」の「桜の開花日と平均開花日の差」において、長崎県のデータが掲載されている。</p>	<p>・1年7章「データの活用」において、過去100年間の高知市の3月の平均気温が扱われており、本県と関連付けて考えることができる。</p>

Ⅲ 具体項目

数学

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「問」のうち「例」と似た型の問題に「ダイヤモンド♦」を付すことで、つまずきをなくし基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 巻末には、本文の「問」に対応した「補充の問題」を豊富に用意し、繰り返し練習に取り組む機会を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「活動」「例」「例題」を適切に配置することで、活動を通して学ぶべきことを見だし、例や例題で基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 本文横に「プラスワン」を、章末や巻末などに豊富な問題を準備し、繰り返し練習する機会を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計算力を高めよう」「確かめよう」を設けることで、技能の習熟を図るとともに、「例」の解答を細かい説明を加えたノート形式で示すことで、基礎的・基本的な知識を確実に習得することができるよう工夫されている。 「ふりかえり」や「目標」に対応させた「どんなことがわかったかな」を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「例」「たしかめ」「問」「基本の問題」を適切に配置し、巻末に「補充問題」を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 巻末の「学習のまとめ」や、巻末の「学びのマップ」で、学習内容を振り返って確認する機会を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「深い学びのページ」で、問題発見・解決の過程を意図した活動に取り組む中で、巻末の「大切にしたい見方・考え方」と対応させることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 巻末の「章の問題B」を2ページ構成とし、「活用の問題」を豊富に取り上げ、記述式の問題を設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全章で導入活動を設定し、見いだした問題を基に学習のめあてを設定し、数学的活動に主体的に取り組ませることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「Q」の「判断しよう」「伝えよう」や、巻末に「活用・探究」を設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」の側注に解決に必要な「見方・考え方」を示したり、「数学的活動のページ」で、問題解決の見通しを立てる話し合いの場面を設けたりすることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 巻末の「活用」「深めよう!」で、単元で身に付けた知識・技能を活用して、問題解決に取り組む活動を設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなに説明しよう」や、主に活用の節で学習のプロセスを体験できるページを設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「数学の広場」や巻末の「学習のまとめ」「章の問題の★」、巻末の「学んだことを活用しよう」などを設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。

III 具体項目

数学

観点	発行者	啓林館	数 研	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「例」や「例題」で学習内容を分かりやすく示したり、解答例をノート形式にして計算や式の変形などを丁寧に示したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 章末の「学びをたしかめよう」や巻末の「もっと練習しよう」で、「問」と同種の問題に繰り返し取り組むことで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「例」や「問」を細かく設定し、豊富な例示と丁寧な説明を付して学習内容を理解しやすくすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「確認問題」や「チャレンジ編」に標準的な補充問題を多数設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「例」や「問」に内容や目的を示すタイトルを付し、学習内容を理解しやすくするとともに、復習に取り組みやすくすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 章末や巻末に十分な量の問題を準備することで、反復練習を通して基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設け、自分の考えを表現したり、多様な考えに触れたりする機会を増やすことで、数学的な判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 章末の「学びを身につけよう」や、巻末の「力をつけよう」「学びをいかそう」で、知識・技能の活用を促す問題を取り上げることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Q」や「TRY」で、方法や理由などを説明する問いや、自分の考えを伝える機会を増やすことで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「見つけよう」「やってみよう」などを設定し、その章の内容に関連する話題や学びを深める活動を取り上げることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合おう」では、「話し合おう」「説明できるかな？」を適宜設け、言語活動の充実を図ることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 章末の「とりくんでみよう」や、巻末の「数学マイトライ」「活用の問題」で、生徒の興味・関心に応じた題材を充実させることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を伸ばすことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 図 学習指導要領の特長 上での目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を</p>	<p>(3) か。主 ける体的 こと にが学 習で でき る取 り組 む工 夫さ され て身 に付</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「大切にしたい数学の学び方」や「数学マイノート」では、教科書の使い方やノートのつくり方のポイントを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「学びをひろげよう」では、社会的な課題や現代社会でニーズが高まっている職業を紹介することで、数学を学ぶことの意義や有用性を実感し、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「数学の世界へようこそ」では、問題発見・解決の流れや働かせたい見方・考え方の例を示すことで、学習の進め方や問題解決に対して主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「社会にリンク」、「活用・探究」では、その単元で学んだことの意義や実生活とのつながりを紹介することで、問題を身近なこととして捉え、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「章のとびら」では、生徒が興味・関心を抱くような日常や社会の事象を題材とすることで、問題を解決する必要感を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・巻頭の「数学の力」や章末の「役に立つ数学」では、職業や実生活における数学の活用をコラムとして紹介することで、数学を学ぶことの有用性を実感し、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の導入課題「Let's Try」では、日常の事象の考察から、学習のめあてを明らかにし、数学的な課題につなげることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・各学年において、随所に学習のプロセスを重視したページを設け、問題解決の過程が分かるよう側注に示すことで、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。
	<p>(4) さ。数 れと学的 てが活 いよ動 るさの か。を よ実 う楽 工感 夫す ささ るや</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びをふり返ろう」では、内容のまとめごとに問題解決を振り返る活動を設定することで、数学のよさを実感し、次の学びに向かう意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「MATHFUL」では、学習内容に関連した数学の歴史や生活とのかかわりを紹介することで、数学のよさや数学が役に立つ学問であることを実感することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的活動のページ」では、日常生活や社会の事象を数理的にとらえる活動を設定することで、協働的な学習を促すとともに、発展的な学習にもつなげることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Qマークの問題を設け、観察、実験、調査などの活動を取り入れることで、結果を予想したり、新たな法則や性質を見いだしたりして、数学的活動の楽しさやよさを味わうことができるよう工夫されている。

III 具体項目

数学

観点	発行者	啓林館	数 研	日 文
<p>2 学習指導要領の特長 図学習指 導要領の 特長の目 標や内容 等を踏ま えて、確 かな学力 の育成を</p>	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・節の導入の「学習のとびら」では、生徒が興味・関心を抱くような身近な題材を取り上げることで、数学の有用性を実感し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・巻末の「自分から学ぼう編」では、個に応じて取り組むことができる補充問題や探究問題を設けることで、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の学習の前に「ふりかえり」のページを配置し、既習事項の問題演習を通して、新たな学習事項に目を向けさせることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・側注に登場する動物や生徒のキャラクターの対話に、課題の提起、助言、確認の役割をもたせることで、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び合おう」では、問題解決型の授業展開を示し、「対話シート」を取り入れることで、互いに考えを伝え合い、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・生徒のキャラクターの吹き出しやノート形式の枠を用意することで、適切な表現での記述や説明を促し、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。
	<p>(4) 数学的活動の楽しさを味わえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとの学習のとびらの「利用場面」で数学が活用されている実生活を単純化した題材を扱うことで、数学のよさや学習したこととの関連を実感することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊「探究ノート」の課題学習では、身近な事象から問いを生み出し、数学的な見方・考え方を働かせて考える題材を取り扱うことで、数学のよさを実感することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学のたんけん」「暮らしと数学」「数学研究室」では、現代的な諸問題や他教科との関連をテーマとすることで、数学を学ぶ意義やその有用性を実感することができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る</p>	<p>(5) 一度学習した内容を再度学習できる適切な設定や学習の機会が適切に確保されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 側注に「ちょっと確認」を設けることで、既習事項を確認しながら学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 「学びをふり返ろう」で、話し合ったり、自分の言葉でまとめたりする機会を設けることで、理解を深め学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「プラスワン」や「補充問題」で、問題演習の機会を増やすことで、学習内容の定着を図るとともに、個に応じた自主的な取組ができるよう工夫されている。 章末の学習全体の問題や巻末の前学年の振り返りなど、豊富な問題に取り組む機会を設けることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 領域ごとの「ふりかえり」と章末の「～を学んで」を設けることで、学びのつながりを確認しながら理解を深めることができるよう工夫されている。 「計算力を高めよう」や章末の「まとめの問題」で繰り返し練習する機会を充実させることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で「～を学習する前に」や「学習のまとめ」を用意することで、前学年の既習事項や学習した内容を確認することができるよう工夫されている。 側注の「もどって確認」や「補充問題」で、既習事項を振り返る機会を設けることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。
	<p>(6) 各領域の深い学びや、日常生活や社会の事象に関する問題発見・解決の場面を設け、振り返りを促すことで、考えを深めることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元内の「深い学び」、巻末の「深い学びを振り返ろう」で、日常生活や社会の事象に関する問題発見・解決の場面を設け、振り返りを促すことで、考えを深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「活用・探究」や巻末の「もっと数学の世界へ」の課題学習で、習得した知識を生かして問題を解決し、問題作りに取り組む場面を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数学的活動」や巻末の「さらなる数学へ」で、身近な事象から問題を発見し、解決するまでの過程を振り返る活動を設定することで、新たな問題や性質を見いだすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習のプロセスのページ」で、日常生活や社会の事象を題材として問題発見・解決のプロセスを例示し、解決の過程を振り返る活動を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

数学

観点	発行者	啓林館	数 研	日 文
<p>2 上での学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る</p>	<p>(5) に一度設定する学習内容など学び直しの学習機会が適切</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「もっと練習しよう」や「力をつけよう」において、問題演習の機会を多く設定することで、基礎・基本の定着を図ったり、理解を深めたりすることができるよう工夫されている。 ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」で、課題解決に取り組む活動を設けることで、学習内容の理解を深めたり、学びを広げたりすることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の前に「～の学習の前に」や章の途中に「ふりかえり」を用意することで、既習事項を繰り返して学習し、理解を深める機会を増やすことができるよう工夫されている。 ・巻末の「力をのばそう」「力をつけよう」で、練習問題を豊富に用意することで、個に応じた自主的な学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の前に「次の章を学ぶ前に」を配置し、学び直しの機会を設けることで、単元の学習に関連する既習事項を確認することができるよう工夫されている。 ・「問」に、「+チャレンジ」や関連する巻末の「補充問題」のページ数を示すことで、基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されている。
	<p>(6) 夫すりして各領域の内容を関連付けて学習できるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用」の「ステップ3」で、解決の過程を振り返って考えを深めたり、巻末の「学びをいかそう」で、身近な場面と関連付けた題材を扱ったりすることで、問題解決能力を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊の「探究ノート」や「ワークシート」で、発展的な課題を解決したり、解決した過程を振り返ったりする活動を設けることで、問題解決能力を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び合おう」で、学んだことを利用して問題を解決し、その過程や結果を振り返って発展的に考えたり、新たな性質を見いだしたりする活動を設けることで、問題解決能力を伸ばすことができるよう工夫されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章量は適当に分かりやすく、記述と質・量とも適切にまとまっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題やめあてをページ上部に配置し、枠囲みで強調することで、目的意識をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 右横の余白を効果的に利用し、既習事項の確認や補充問題、吹き出しなどを配置することで、生徒が学びやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」マークを付すとともに、学習内容に応じて、活動、例、例題を使い分けることで、生徒が学びやすくなるよう工夫されている。 1年では、文字の代わりに○や□を使って規則等を説明することで、小学校算数からの抵抗感を軽減するよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小節の始めに「目標」を、終わりに「どんなことがわかったか」を明記することで、見直しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 解答例をノート形式で提示し、重要ポイントは枠囲みとともに「重要」と明記することで、視覚的にも分かりやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を枠で囲んだり、側注に「数学的な考え方」や「もどって確認」などを配置したりすることで、生徒が学びやすくなるよう工夫されている。 「ノートの書き方」を例示したり、学習後の感想を箇条書きで例示したりすることで、生徒の学びの手助けとなるよう工夫されている。
	<p>(2) 写真や挿絵、図表などに十分配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気付きや考えを引き出すきっかけとなるキャラクターと、補助発問や注意を喚起するキャラクターとを使い分けることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 各章のとびらで、日常生活や数学の事象を挿絵で提示したり、巻末に「深い学び」や「自由研究」を掲載したりすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末に「仕事の中の数学」や「活用探究」を配置し、章のとびらや巻末に数学に関する身の回りの写真を掲載することで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 巻末の「課題学習」「MATHFUL」では、挿絵や図、写真を多く用いることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒キャラクターによる対話形式で問題解決の手掛かりを示すことで、生徒が主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。 単元前の「ふりかえり」や巻末の「協働学習のページ」では、図や挿絵を多く用いることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の学習内容や見落としがちな事項についてキャラクターの吹き出しを用いて示すことで、生徒が主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。 巻末で、既習事項を図や挿絵で分かりやすくまとめたり、数学の歴史や仕事への活用事例を掲載したりすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトは、活用しやすいよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、全体的に優しい色づかいで、挿絵と写真が適度に配置されている。巻末の折り込みは、図や色を効果的に用いることで、活用しやすくなるよう配慮されている。 適度な行間で、内容ごとのまとまりを分かりやすくしたり、側注に十分な余白を設けたりすることで、学びやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、挿絵や写真がバランスよく配置されている。巻末には、切り取って活用できる年間のまとめを取り入れることで、使いやすくなるよう配慮されている。 重要事項を赤枠で囲んで強調したり、例や例題にタイトルをつけて内容を示したりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、挿絵は淡くシンプルな描写のものが用いられている。巻末には折り込みでアイデアボードを設け、意見交換に活用することができるよう配慮されている。 作図や書き込みに用いる図を、ページの外側に配置することで、教科書上での作業がしやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、挿絵や図表は鮮やかな色彩で表現されている。巻頭には、数学的な見方・考え方の一覧を配置することで、使いやすくなるよう配慮されている。 脚注に色枠を付すことで、中心的な内容と補足的な内容を区別し、学びやすくなるよう配慮されている。

III 具体項目

数学

観点	発行者	啓林館	数 研	日 文
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分量も適切に分かりやすく記述となつて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重要事項や語句を色付けした枠囲みで強調したり、意味や文節によって改行したりすることで、分かりやすくなるよう工夫されている。 活動問題では「～しましょう」、例題では「～なさい」「～である」と文末表現を使い分けることで、めりはりをつけて学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を枠で囲み、めあてに黄色の下線を付けたり、解答例をノート形式で提示したりすることで、生徒の学びの手助けとなるよう工夫されている。 1年では、文字の代わりに○や□を使って規則等を説明したり、文末表現を小学校算数の表記と合わせたりすることで、進学時の抵抗感を軽減するよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の課題、めあての位置が統一されており、赤字で示すことで、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 意味や文節によって改行したり、問いや章末問題と活動の場面で文末表現を使い分けたりすることで、学びやすくなるよう工夫されている。
	<p>(2) 写真や挿絵、図表などは、学習内容と関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭でノートの作り方を解説したり、「数学ライブラリー」で数学の歴史や数学を生かす生活場면을提示したりすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 巻末に裏の表紙から始まる縦開き構成の「自分から学ぼう編」を配置し、挿絵や図表を豊富に用いた構成とすることで、自主的に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターの役割を巻頭に明記し、各単元では思考の過程が分かるように対話形式で示すことで、学習を円滑に進めることができるよう配慮されている。 巻頭には、数学と関連する建造物や伝統工芸品等の写真を掲載し、単元内においても身近な図や写真を豊富に用いることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 側注に、既習事項や考え方のヒント、「大切な見方・考え方」を明記することで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 巻頭で図形や関数の身近な例を掲載したり、巻末で数学に関連した仕事や生活場面の写真を掲載したりすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや色紙、文字の大きさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、挿絵や見出しは温かみのある色が用いられている。巻末の「自分から学ぼう」は、見開きにすることで、活用しやすくなるよう配慮されている。 行ごとの文字数を減らして、ページの右側に余白を残すことで、読みやすく、書き込みスペースとしても活用できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は乳白色を基調とし、コントラストが鮮明な挿絵や図表を効果的に配置することで、見やすくなるよう配慮されている。 「確認問題」や「問題A」「問題B」で、問題間に余白を設けたり、別冊「探究ノート」の巻末にワークシートを用意したりすることで、取り組みやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 背景色は白色を基調とし、図表や挿絵、キャラクターは多色で鮮やかな色づかいにすることで、注目しやすくなるよう配慮されている。 重要語句を目立たせたり、図表では、線を太く数字を大きく表示したりすることで、読み取りやすくなるよう配慮されている。